

横浜市長
山中竹春様

「特別市」の実現に向けた取組の推進について（要望）

先般2月20日には、山中市長自ら栄区へお越しいただき、横浜市が実現を目指す特別市についてのご説明とともに、私たちと意見を交換する機会を設けてくださり、たいへん嬉しく感謝しております。

四国4県と同規模の人口を有する横浜市が、県市の二重行政によって行政運営が非効率になっていること、税制上の措置が不十分であることなど指定都市制度が課題を抱えていることを私たちは改めて認識することができました。

2月の意見交換の場では、「特別市」を進めていくことは大変なことと申し上げましたが、横浜市中期計画「明日をひらく都市 横浜」の中で大都市制度として「特別市」についても触れられていること、また今年度から特別市へ向けた市の推進体制を強化していることも知りました。

私たちは、この課題を警察や横断歩道・信号の設置のような身近な具体的な事例を通じて、各連合町内会・自治会の中でも議論していくことが重要と考えております。

つきましては、「特別市」について地域での理解促進、機運醸成のため、データや身近な事例を交え、市民目線に立った情報を提供していただける説明会の開催を要望させていただきます。

「特別市」の実現に向けては、法律の改正など国への働きかけが必要となるそうですが、私たちは高齢化が進み、バスの減便や雪が降れば交通手段が途絶してしまう横浜郊外部の活性化を「特別市」に期待しているところです。今後、国や神奈川県と丁寧に調整して進めていただきますようお願いいたします。

子育てしたいまち 次世代を共に育むまち そして暮らしたげたいまちを目指して住民とともに前へ進めていきましょう。

令和5年4月24日
栄区連合町内会
会長 細田利明